

航 跡

こわ

せき



No.29

発行／大分県大分市大字野田759番地1

社会福祉法人博愛会

TEL(097)586-6121 FAX(097)586-6115

<http://hakuai-oita.com>



各施設絵画教室の作品より

多くの方が犠牲となった東日本大震災から早くも一年が過ぎました。余りにも広域に亘る被災地の状況、今も解決の出来ない原発問題等多くの課題が残されています。地域における社会福祉法人の共存、共助を改めて検証、考察していきたいと思えます。

当法人も4月より全ての施設において新体系事業に移行となりました。新体系に変わるにより、日中活動と夜間居住の福祉サービスが分離されることとなります。はざまとなる時間の利用に不具合が生じないよう、柔軟な支援が必要となってきます。全事業所において日常生活、社会生活が希望の選択により受けられるように様々な福祉サービスを提供できる環境を整えてまいります。

また、今年度は駅南の博愛地域総合支援センターの建設工事に着手します。法人にとって地域サービスの拠点となる大きな事業となるため、平成25年からのスタートに向け、準備の年となります。障がいのある方の多様な就業技能、生活能力を磨くための機関を併設し、社会自立ができる人材の育成に努めます。さらに複合基幹事業所の機能を十分に発揮する支援システム体制を創出し、地域における多様なサービスの事業所間調整を図り、リレー支援、アフター支援

を通じて、障がいのある方の人生を支えていけるセンターを目指してまいります。

本年度の主要事業は次のとおりです。

1. 利用者サービスに関する新体系移行事業
2. 施設整備に関する事業
 - ① 福祉サービスの拠点づくり
 - ・博愛地域総合支援センターの建設
 - ② その他の福祉サービス事業所の整備
 - ・就労継続支援多機能型キッチン花亭付属施設、カット野菜工場の新設
 - ・就労継続支援B型住吉浜リゾートパーク内グラウンドゴルフ場の整備
 - ・グループホーム「さわやか山荘Ⅱ」の改装と指定申請
3. その他の事業
 - ① 職員の人材育成と資質の向上
 - ・第一期社会福祉士養成課程の終了
 - ・職員採用試験の実施
 - ・法人内研修会の実施
 - ② 新会計基準の準備
 - ③ 博愛タツシユ村事業
 - ④ ホームページ及び機関誌の内容の充実と更新

相談支援事業開始のお知らせ

博愛会の事業所では、第一博愛寮、博愛地域総合支援センターに続き、第二博愛寮、コロニー久住におきましても「相談支援事業」を開始しました。「相談支援事業」は大きく2種類に分けることができます。

計画相談支援（サービス等利用計画の作成）
利用される方の援助方針や解決すべき課題を踏まえ、最も適切なサービスの組み合わせ等について検討し、作成します。
※平成27年度には全ての利用者が必要となります。

一般相談支援（地域移行支援と地域定着支援）
障害者支援施設、精神科病院から地域生活移行に関する支援です。地域生活を継続していくために常時の連絡体制の確保と緊急時の相談その他の支援を行います。

ともに第一博愛寮、博愛地域総合支援センター、第二博愛寮、コロニー久住の事業所において指定を受けています。

詳細につきましては各事業所の相談支援専門員にお尋ねください。

第一博愛寮

第一博愛寮では、今年度より新体系へ移行し、夜間のサービスである施設入所支援と日中のサービスである生活介護を組み合わせた、施設障害福祉サービスを提供する障害者支援施設となりました。

制度上は夜間と日中のサービスを分離し、選択できることになっていますが、当施設の場合は利用者全員がそのまま施設入所支援と生活介護のサービスを受け、これまで通り24時間を通じて支援を提供することになっております。日中活動の全員が生活介護ということが、改めて当施設の特徴を物語っており、法人内での位置づけや、求められる役割・機能を十分に認識したうえで、期待にこたえる施設づくりに努めなければなりません。

今年度は、昨年度より実施している保護者への毎月の定期連絡などを通じて、相互の理解と共通認識を深めた上で、適切な個別支援計画を作成、実践することで、利用者の人生や生活の質の充実、住環境の整備、美化、衛生などに重点を置きます。

また、高齢化が進むなか、障害者施設としての機能を生かし、高齢者福祉施設のノウハウを学び、介護技術の習得や、将来的な大規模修繕にむけての検討会を継続し、それに対応できる準備を進めます。また、新体系移行に伴う内外への周知を図るため、パンフレットの作成やホームページの刷新、看板の設置などを行うとともに、事業や業務、日課等の必要な見直しを行い、効率的な運営ができるようにします。



機能訓練

ふるさと訪問

私たちが、昔を懐かしむ際、必ず思い出すのが故郷です。故郷とは何を思うでしょうか…。家、両親、兄弟、親戚、友達、近所の人、近くのたんぼ、よく遊んだ川、お祭りや学校など…様々なものを思い浮かべると思えます。毎年、帰省の時期になると、家族や兄弟が迎えに来られ、家に帰ることのできる方もいらっやいます。しかし、第一博愛寮で生活している利用者の方の中には、日に日に帰省する事が難しくなっている方も多くいらっやいます。室生屋星は「故郷は遠きにありて思ふもの」という歌を残しています。どんなに年を重ねても故郷を忘れる事はありません。

第一博愛寮では、故郷を忘れて欲しくない、故郷を感じてもらい、生活がより張りのあるものになってもらいたいという思いから、「ふるさと訪問」という取り組みを始めました。



「ふるさと訪問」の一部を紹介します。
須平栄子さんは、故郷佐伯を訪れました。ご兄弟も集まってくださり、栄子さんが帰って来ることを楽しみにされていました。栄子さんが足取り良く階段を上り、家に上がる姿をみて、皆さん大変驚き感動されていました。栄子さんは、ご両親の仏壇に手を合わせる事ができました。栄子さん、ご兄弟の方々、共に懐かしみ笑顔の絶えない1日となりました。

第一博愛寮ホームヘルプステーション

在宅障がい児(者)の方々、及び在宅高齢者の方々が、安心して地域での日常生活を送ることができるよう、利用者本位の心を込めたサービスを提供します。
・自立支援法：居宅介護・重度訪問介護・行動援護・移動支援
・介護保険法：訪問介護・介護予防訪問介護

第一博愛寮短期入所事業

・短期入所事業
障がい児(者)の保護者又は家族の方の疾病等で、保護及び援助を必要とする方に短期間の入所を提供します。
・日中一時支援
障がい児(者)の保護者又は家族が一時的に支援を必要とする場合、日中の受け入れを行います。

キッチン花亭

キッチン花亭では次の事を重点に置き事業展開をおこなってまいります。一つは、なおいつそうの経営努力を行います。営業活動に力を入れ、より安定した経営基盤を作り、利益を上げ従業員の生活に影響を及ぼす給料保障をしっかりとしていきます。もう一つは従業員への指導・支援であり社会人として立派に自立していけるよう個人、個人を育てていくことです。

また、今年度は就労移行支援事業も始まり、多機能型事業所としての変化はそこに従事する職員の多機能と専門性が常に追求されます。そのためには、共通した認識のもと、共感し、実践できる組織を目指して努力していきます。

焼肉親睦会

今年度もキッチン花亭を支えて頂いている給食部門でのパートナ―職員(切り込み・配送)を交えて焼肉親睦会を行いました。日頃、従業員さんとの係わりがあまりない交流の場として貴重な時間を過ごせました。



就労移行支援事業開始

今年度からの新しい事業、就労移行支援事業が始まりました。4月2日、キッチン花亭の管理者より新しく入社した従業員さん達に辞令交付を行いました。



第二博愛寮

当事業所は、今年度より、「障害者支援施設第二博愛寮」として施設障害福祉サービスを、「施設入所支援（夜間のサービス）」に、昼間実施するサービスの「生活介護」又は、「就労移行支援」を併せて提供します。これに伴い、第二博愛寮が支援する共同生活介護（ケアホーム）入居者及び地域生活者の日中におけるサービス提供が可能となり、通所による生活介護サービスも提供し、地域生活者等の支援の充実を図ります。

さらに、今年度より地域における生活についての基盤整備の一つとして相談支援体制の充実が図られることから、地域移行する利用者に対してのバックアップ体制を確保するために、「一般相談支援事業」の事業指定を受け、「地域移行支援」並びに「地域定着支援」を提供します。同じく「サービス等利用計画」については、「計画相談支援」も一体的に事業指定を受け、「特定相談支援事業」を実施します。特に、「地域移行支援」「地域定着支援」については、利用者にとっても一定の期間は所属先との関係を保てることから、安心を担保出来ると考えています。

「博愛大学校どりーむ」については、今年度より就労移行支援事業「博愛大学校どりーむ」として位置づけ、標準利用期間内において、より効果的なサービス提供が可能となるよう、関係職員を中心に事業内容を理解し実績の向上に努めます。

以上の点を踏まえ、今後も施設入所支援を核とした包括的なサービス提供が可能となるための事業を考察し、これまで培ってきたサービスを新体系サービスの中に如何に融合させ位置づけていくのかと、将来的に当事業所のサービス利用を希望する利用者のために、どのような事業展開が有効なのかを検証しつつ、その実現に向けての基盤整備に取り組んでいきます。

「どりーむ」を7名が卒業



博愛大学校「どりーむ」第七期生4名、第八期生3名、計7名の卒業式が3月30日に行われました。釘宮卓司理事長より卒業証書が手渡されました。卒業生を代表して酒井智輝さんが答辞を述べました。また、保護者を代表して酒井美保さまよりお言葉をいただきました。

就職先

- * 富士産業株式会社 アルメイダ病院事業部
オアシス病院事業部
- * 株式会社トキハインダストリーわさだ店鮮魚部
- * 住吉浜リゾートパーク多機能型事業所
- * キッチン花亭 多機能型事業所

第十期生 入学式

博愛大学校「どりーむ」第十期生7名の入学式が4月2日に行われました。就労移行支援事業を利用し「一般就労生活自立」を目指しこれから頑張っていくます。

卒業生の保護者を代表いたしまして、一言お礼の言葉を申し上げます。

本日は、多数のご来賓の皆様のご臨席のもと、このような温かい愛情のこもった素晴らしい卒業式を開いて頂きましたことは、保護者一同、この上ない喜びでございます。心よりお礼申し上げます。

思い返せば4年前、息子の高校卒業後の進路を考え模索しておりました時、本校の博愛大学校システムを知り、見学させて頂きました。見学時の私の不仕付けな質問に笑顔で答えて下さった平野課長、行き過ぎた質問に対しプライドを持って実直な言葉を下さった山路支援員。お二人の姿勢を見た時、私は息子をこちらの大学校に預けることが、この子にとって最良の成長に繋がると確信し、何の迷いも無く、入学式を迎えました。

入学式では施設に咲く満開の桜が私達を迎えてくれ、施設の皆さんの「入学おめでとうございます。」という言葉と優しい笑顔に包まれ、新しい生活を迎えるという不安が薄らぎました。

あれから三年。親元を離れ初めての寮生活。暑い中寒い中でのネギ栽培実習。雨の日、炎天下の中、雪の降る中自転車で通った職場実習。今までの学生生活とは180度違う生活に、子ども達も不安や戸惑いも多々あったことでしょう。

私どもの子どもは、一人ひとり支援の方法が違います。ニーズも違います。支援員の方々も戸惑うことが多かったのではないのでしょうか？一人ひとりの子どもに合わせた支援を、あわせず、あせらず、あきらめずに根気強く接して下さいました支援員の皆様、ありがとうございました。子ども達も、保護者もどれだけ心強かったことでしょう。

自分で働き生活をする。という目標のもと、入学式ではまだ少年・少女だった面持ちが、3年間の大学校生活を経た今、まばゆいばかりの青年へと成長しました。子ども達の成長のかけには、ご来賓の皆様、施設の皆様方のたゆまないご尽力、努力があってこそだと思っております。この三年間の思い出は皆一人ひとり違うとは思いますが、皆様方への尽くせない感謝の気持ちは子ども達、保護者一同変わりありません。本当にありがとうございました。

人と人は支えあい成り立っています。私どもの子どもは、普通と言われる人達よりも、もう少し多くの支えが必要です。これからも、迷ったとき、悩んだ時、皆様方のもとに参りましたら、どうか手を差し伸べて頂けますよう、よろしく願いいたします。

最後に、ご来賓の皆様、施設の皆様方の、益々のご健勝と博愛大学校「どりーむ」並びに博愛会のさらなる発展を心よりお祈りいたしまして、お礼の言葉とさせていただきます。
保護者代表 酒井 美保

コロニー久住

障害者自立支援法に基づき新体系となるべく、新たな障害者支援施設として施設入所支援と併せて、生活介護、就労移行支援のそれぞれの事業を行います。

これまでの旧体系の入所授産施設と違って、介護と就労という日中活動支援と夜間の居住支援を組み合わせて事業展開していくため、多様なライフスタイルに合わせ、効率的かつ緻密に支援サービスを提供します。介護支援では夜勤業務により、これまで宿直では不十分だった夜間の支援を充実させます。例えば、入浴排泄及び食事、口腔内ケア等の介助を行います。また、日中活動のひとつとして今年度より外部の講師による創作的な活動、文化的活動等の提供がスタートしました。具体的な活動はパソコン教室、絵画教室、レクリエーション教室、和太鼓教室、歌の教室、陶芸教室等を予定しています。就労の場では、つえもと農場内に新しく竹葉式軽石農法を取り入れます。収穫した野菜（主に葉物野菜）はキッチン花亭に新しくできるカット野菜工場へ出荷します。

支援サービスを提供する上で更に専門性が求められるため、それぞれの事業ごとに、地域の社会資源、ネットワークを構築しながら、一人一人のサービス等利用計画に沿った個別支援計画に基づいて支援を提供します。



竹葉式軽石農法による葉物野菜の栽培



パソコン教室



絵画教室

パルククラブ

今年度より新たに就労移行支援事業を併設し、多機能型事業所に変更となりました。

それに伴い、5月からパルククラブ及びコロニー久住の従事者、地域の高齢者の方々と共に木工部門を取り組むこととなりました。就労移行者には外部企業から受託する新たな作業や実習で訓練の機会を提供し、地域の方々とのふれ合いを大切にしていきます。

また温泉館「大地乃湯」はおかげ様で、10周年を迎えることとなりました。ご利用のお客様の感謝の意をこめて7月中旬に10周年記念温泉館祭りを企画しています。愛される温泉を維持していく為にも環境整備やメンテナンスなどに緊張感をもってあたっていきます。

施設設備においては、新しくグループホーム「さわやか山荘Ⅱ」が完成し、4月から入居する利用者も新しくできた施設で快適な生活の場を提供していきます。本年度は新しい事業を展開していきますが、他施設の集客・売上向上を課題に努めていきます。



「さわやか山荘Ⅱ」での新生活



木工部門作業風景

平成23年度 博愛会決算状況

(単位：千円)

一般会計	貸借対照表				事業活動収支計算書			
	借方	金額	貸方	金額	借方	金額	貸方	金額
	流動資産	513,519	流動負債	138,914	事業活動収入	874,717	事業活動支出	749,575
	固定資産	1,835,996	固定負債	201,868	事業活動外収入	175,311	事業活動外支出	166,019
			基本金	481,541	特別収入	48,290	特別支出	48,881
			国庫補助積立金	366,535	収入合計	1,098,318	支出計	964,475
			積立金	153,796				
			次期繰越活動収支差額	1,006,861	当期活動収支差額			133,844
					前期末繰越活動収支差額			945,016
					繰越活動収支差額			1,078,861
	資産合計	2,349,515	負債・純資産計	2,349,515	次期繰越活動収支差額			1,006,861

就労会計等	貸借対照表				事業活動収支計算書			
	借方	金額	貸方	金額	借方	金額	貸方	金額
	流動資産	325,789	流動負債	70,240	就労事業収入	652,000	就労事業支出	688,259
	固定資産	1,049,977	固定負債	45,593	事業活動収入	433,273	事業活動支出	395,500
			基本金	56,278	事業活動外収入	48,882	事業活動外支出	25,765
			国庫補助積立金	385,373	特別収入	0	特別支出	22,953
			積立金	30,000	収入合計	1,134,155	支出計	1,132,477
			次期繰越活動収支差額	788,282	当期活動収支差額			1,678
					前期末繰越活動収支差額			786,604
					繰越活動収支差額			788,282
	資産合計	1,375,766	負債・純資産計	1,375,766	次期繰越活動収支差額			788,282

平成24年度 行事予定

行事	日程	場所
大分県ゆあいスポーツ大会	平成24年5月13日(日)	大銀ドーム
博愛会交歓会	平成24年6月3日(日)	戸次ふれあい広場
大分県障害者スポーツ大会	平成24年6月10日(日)	大銀ドーム他
博愛会盆踊大会	平成24年8月25日(土)	第一博愛寮
ファミリー交流会 (コロニー久住・パルククラブ保護者会、あいネットワーク大分共催)	平成24年9月9日(日)	パルククラブ
博愛会運動会	平成24年10月13日(土)	第一博愛寮
収穫祭	平成24年11月3日(土)	パルククラブ
第5回 音楽会 (主催：NPO法人あいネットワーク大分)	平成25年2月24日(日)	iichicoグランシアタ

近況報告 博愛 タツシユ村

「みんなで外へ飛び出そう」と提案された、博愛タツシユ村。昨年の、陶芸・ハーブ工房に続き、現在はピザ窯の製作中です。

たくさんさんの施設が充実してきました。これからは、利用者さんたちの笑顔があふれ、楽しく利用できるための内容の充実にも力を注いでいきたいと計画中です。

追伸。あわせて、目新しい夏野菜の植付も終了し、夏本番の収穫が待ち遠しいところです。




●宿泊型自立訓練博愛通勤寮

旧知的障害者通勤寮から新体系に移行し、今年度から博愛通勤寮は宿泊型自立訓練事業所となりました。今後は各利用者が一定期間を経て地域での生活へと移行することを大目標として、そのために必要な生活支援や就労支援を、一人ひとりの生活状況や障がいの特性に合わせて適宜行います。

●大分プラザ

大分県中部圏域における障がい者就業支援の要として、大分プラザの役割は年々大きくなってきています。宿泊型自立訓練事業所や関係機関との連携を進めて支援のネットワーク構築を継続すると同時に、質・量ともに増大し続ける業務に対応できる体制を人員面とシステム面の両面において整備します。

また、急増する精神障がいおよび発達障がいに対する支援スキルの向上に努め、相談者の幅広いニーズに沿える支援を目指します。

●短期入所事業(単独型)

地域生活を送る就労中の知的障がい者が、一時的に在宅や独居での生活が困難となった場合に、利用者個々のニーズに応じた有効な支援を行うことで利用者の就労継続をサポートします。短期入所のニーズがしばしば緊急的に発生することを念頭に置き、利用者の緊急受け入れが可能な体制を維持します。

●相談支援事業

対象者が今年度から拡大される障害福祉サービス等利用計画の立案、新たな支援メニューとなる地域移行支援と地域定着支援の実施を通して、関係機関や障害福祉サービス事業所等との総合的な調整を図り、安全で安心な障害福祉サービス利用と地域生活への移行に必要な支援を行います。

また、新たな分野への参入として障害児相談支援事業の指定を受け、障がいを持つ児童とその家族に対して適切な支援が可能となるよう、研究と実践を行います。

●大分市共同生活援助等利用障害者緊急時支援ネットワーク事業

通報訓練や緊急時対応に関する研修を積極的にを行い、緊急事態の発生に対し即座に対応できる体制を堅持します。共同生活住居および事業所との連携を強化し、入居者数や避難場所、周辺の道路状況など常に最新の情報を把握することで、緊急時に協力支援員に対して適切な情報提供ができるよう各職員の資質向上に努めます。

●博愛地域生活者緊急時即応支援ネットワーク

博愛地域総合支援センターが中心となる「博愛会」独自の地域生活者支援システムであることを念頭に置き、地域生活を送る障がい者の安心で安全な生活環境の構築に努めます。また、大分市共同生活援助等利用障害者緊急時支援ネットワーク事業と同様に、24時間365日の即応体制を維持します。

博愛地域総合支援センターは、平成24年度から完全実施となる新制度移行後も、障がいのある方の地域生活移行と就労支援を目的とした総合的な支援を継続して行います。センター内事業の「宿泊型自立訓練博愛通勤寮」と「障害者就業・生活支援センター大分プラザ」、「短期入所事業」、更に今年度から機能が拡張された「相談支援事業」の連携を強化し、様々な状況に対して迅速かつ適切な支援が行える強力な体制の整備を進めます。

博愛地域総合支援センター

住吉浜リゾートパークは「福祉」と「観光」そして「農業」の3つの柱をより鮮明にした事業展開を継続し図るものとします。

昨年度の4月から、従業員は定員20名を満たしており、一人の脱着者を出すこともなく、ホテル事業や園内環境整備「コンビニ事業」における接客、パンの製造など各自の専門性を高めることを行い、より一層就労支援策に取組みました。

このことから、今年度は新たな事業として「就労移行支援(定員10人)」を行い、「就労継続支援B型(定員10名)」の多機能型事業所とし、「就労の場の創造と実践の場の提供」と「経済的自立の確立」を、更に積極的に取り組んでいきたいと考えています。

そして、「地元」に貢献できる交流拠点や「周辺地域」の連携を促進する中核施設「など地域に必要とされる施設作り」に努め、恵まれた自然を生かした癒しの空間を創造し、快適な宿泊や研修環境の整備をはじめ、観光資源や食材などの地域特性を活かした商品の造成を図り、「青少年育成の場」として、「高齢者が楽しめる環境」や「障がい者が癒され楽しく過ごせる空間」の提供に努めていきます。

また、本年度の施設整備として、グラウンドゴルフ誘致のため、駐車場、グラウンド等の整備を行います。




住吉浜リゾートパーク

社会福祉法人 博愛会本部

〒870-0868 大分県大分市大字野田759番地1
TEL (097) 586-6121 FAX (097) 586-6115

指定障害者支援施設

第一博愛寮

〒870-0868 大分県大分市大字野田759番地1
TEL (097) 549-1321 FAX (097) 549-1092
※ホームヘルプステーション直通TEL (097) 548-7257

指定障害者支援施設

第二博愛寮

〒879-7761 大分県大分市中戸次2131
TEL (097) 597-0204 FAX (097) 597-0205

指定障害者支援施設

福祉農場 コロニー久住

〒878-0202 大分県竹田市久住町大字有氏896-14
TEL (0974) 77-2344 FAX (0974) 77-2951

博愛地域総合支援センター

指定宿泊型自立訓練
事業所

博愛通勤寮

〒870-0951 大分県大分市大字下郡1226-2
TEL&FAX (097) 569-3109

障害者就業・
生活支援センター

大分プラザ

〒879-7761 大分県大分市高砂町2番50号 オアシス21 3階
TEL (097) 514-3300 FAX (097) 514-3970

指定障害者
福祉サービス事業所 (多機能型)

キッチン花亭

〒870-0868 大分県大分市大字野田841番地1
TEL (097) 586-5775 FAX (097) 586-5525

指定障害者
福祉サービス事業所 (多機能型)

パルクラブ

〒878-0202 大分県竹田市久住町大字有氏896-22
TEL (0974) 77-2941 FAX (0974) 77-2946

指定障害者
福祉サービス事業所 (多機能型)

住吉浜リゾートパーク

〒873-0033 大分県杵築市守江1165-2
TEL (0978) 63-9117 FAX (0978) 63-9127
<http://www.sumiyoshihama.com>

知的障害者福祉ホーム

菜の花庵

〒870-0868 大分県大分市大字野田840番地
TEL (097) 549-6300

知的障害者福祉ホーム

春の風・庵

〒870-0868 大分県大分市大字野田813番地2
TEL (097) 586-6157

INFORMATION お知らせ

海開き

住吉浜リゾートパークでは5月17日、神事を行い事故のないよう祈願した後、海開きをしました。今年も水質検査の結果は良好でした。



10周年温泉館祭り

パルクラブ「大地乃湯」はおかげ様で10周年を迎える事が出来ました。

その感謝の気持ちを込めて10周年温泉館祭りを7月14、15、16日に開催する事になりました。様々なイベントを計画しております。ぜひ、お越しください。



平成23年度 補助完了のお知らせ

①大分市障がい者福祉施設等の スプリンクラー整備事業補助完了のお知らせ

- 知的障害者福祉ホーム「菜の花庵」
整備内容:スプリンクラーの整備
助成金額:3,780,000円

②日本財団車輻助成完了のお知らせ

- 第一博愛寮
整備内容:
送迎車輻整備
助成金額:
1,400,000円



③清水基金補助完了のお知らせ

- キッチン花亭
整備内容:おにぎり成形包装機の整備
助成金額:4,000,000円

④大分県障がい者自立支援基盤整備事業 (大規模生産設備)補助完了のお知らせ

- キッチン花亭
整備内容:
カット野菜工場機器一式整備
助成金額:
20,000,000円



編集後記

今年度、博愛会の全施設で新体系への移行が完了しました。障がい福祉を取り巻く環境が大きく変わる時代の節目を私達は目の当たりにしています。

しかし、制度や法律がどう変わろうとも私達が利用者の方の幸せを一番に考えることに変わりはありません。これからも「利用者の方の幸せ」を一番に前進していきたいものです。

寄附・寄贈

- 石井隆敏様より 50万円
- 安藤昭三様より 30万円
第二博愛寮保護者
- 菊池美知子様より 10万円
- 博愛会後援会より 350万円
第一博愛寮保護者
- 吉岡吾一様より 5万円 (第一博愛寮へ)
- ホームワイドプラス賀来店様より
ギフトカード 3万円分 (第一博愛寮へ)

ありがとうございました。大切にに使わせていただきます。